**特別な支援や配慮が必要な児童生徒等についての理解**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 配慮すべきことがら | 対策の例 |
| **理解****意思表示** | ・情報の理解・判断に時間がかかる場合がある・自分から意思表示をすることが難しい場合がある・情報の伝達方法に配慮が必要な場合がある・危険の認知が難しい場合がある | ・簡潔でわかりやすい指示・情報伝達方法の多様化（声，ゼスチャー，要約筆記等） |
| **行動** | ・臨機応変の対応が難しい場合がある・判断から行動までに時間がかかる場合がある・慌てて行動する場合がある・負傷に対する自覚に乏しい場合がある・段差や階段が苦手な場合がある | ・手を握る・常に早めの行動・ゆっくりと話す・支援者（大人）による助力 |
| **生活** | ・経験のない場面への対応が苦手な場合がある・感情のコントロールがうまく出来ない場合がある・食事・排泄の自立が不十分な場合がある・「順番を守る」，「待つ」ことが苦手な場合がある | ・簡単なゲームをする・本を読み聞かせる・生活フェイズの工夫（「並ぶ」，「待つ」必要のない時間設定） |

**負傷等により自力での行動が困難な児童生徒等への対応**

◇機材の定位置 　　　　　◇基本的な対応

○　初期対応後，状況確認をする

　※児童生徒等と離れた場所にいる場合は，直ちに手分けをして安否確認をする

○　負傷等により自力での行動が困難な者を発見したら，大声で応援を求める

※大人が付近にいない場合は，周辺の児童生徒等に支援や連絡を依頼する（自分はその場を離れない）

※心肺停止等，生命の危険があるときは一次救命措置（BLR）を行う

○　支援者は必要な物品を携え，安全な場所に搬送する。

|  |  |
| --- | --- |
| 物品名 | 定位置 |
| 車いす |  |
| 松葉杖 |  |
| 担架 |  |
| AED |  |
| （脚立） |  |
| （ロープ） |  |
| （毛布） |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |